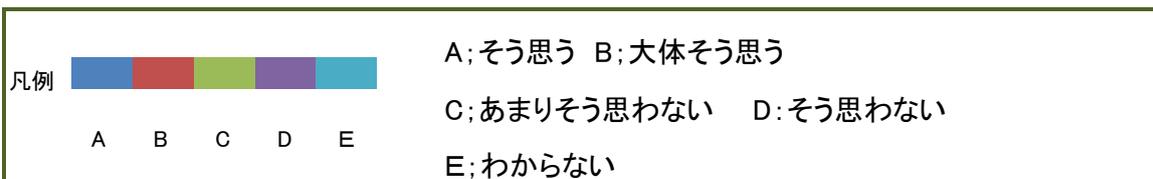


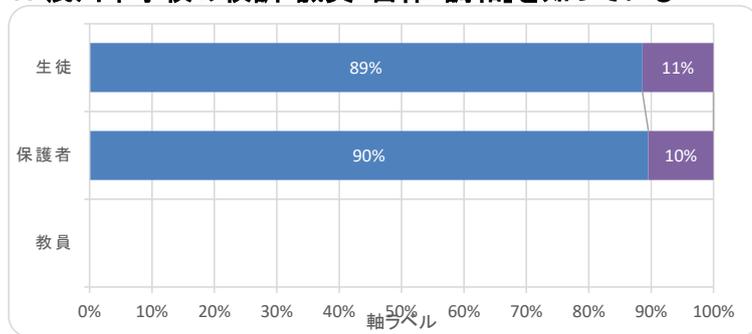
アンケート実施期間;令和6年12月1日～20日

保護者アンケート回収率;65%
 生徒アンケート回収率;67%
 教員アンケート回収率;85%

1年	対象 138人・回収 95人→回収率69%	対象は生徒数
2年	対象 119人・回収 89人→回収率 75%	
3年	対象 110人・回収 83人→回収率75%	保護者回収率(内訳)



1. 浅川中学校の校訓「誠実・自律・調和」を知っている

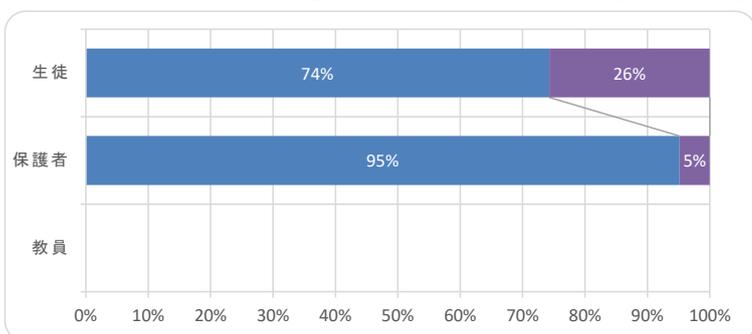


分析・コメント *アンケートはAまたはDの選択でした。
学校運営協議会 ()内は、7月調査のAの割合です。

●(生徒86%、保護者84%)生徒、保護者共に高い認知度である。1年生徒の認知度がやや低い(79%)が、学校生活で身につけていくことを期待する。

学校
 ●今回の結果から、校訓が持つ意味やその短い言葉に込められた願いを伝えていかなければならないとあらためて感じました。その校訓が示す期待される生徒像を具体的に伝えていきます。

2. 学校が力を入れている取り組み「学校林を活用した教育」を知っている

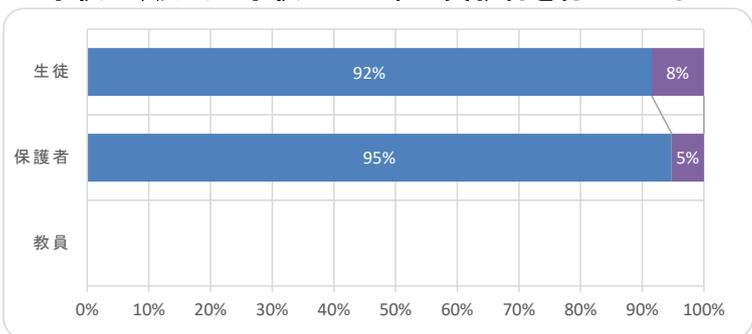


分析・コメント *アンケートはAまたはDの選択でした。
学校運営協議会 ()内は、7月調査のAの割合です。

●(生徒74%、保護者91%)1年生徒の認知度が低い(52%)。下草刈りを経験しているが、意外な結果となった。

学校
 ●前期学校評価の分析から変化が見られなかったことは課題として捉えています。更なる意識付けと、本校の生徒が受け継いできた伝統としても継承する努力を行います。

3. 学校が、浅川小学校との小中一貫教育を行っていることについて知っている

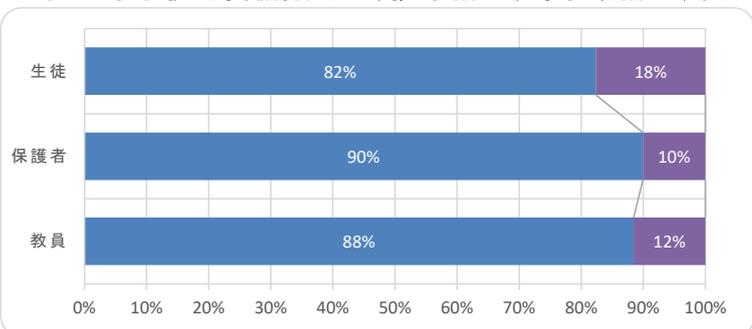


分析・コメント *アンケートはAまたはDの選択でした。
学校運営協議会 ()内は、7月調査のAの割合です。

●(生徒92%、保護者92%)前回同様高い認知度であった。

学校
 ●今回の生徒92%、保護者95%の認知度は過去最高となりました。より一層の小中連携を図っていきます。

4. 浅川中学校運営協議会の、授業補助、部活動補助、漢字検定実施などの活動について知っている

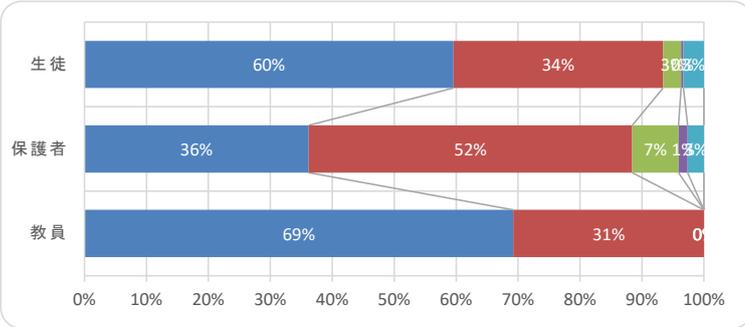


分析・コメント *アンケートはAまたはDの選択でした。
学校運営協議会 ()内は、7月調査のAの割合です。

●(生徒79%、保護者88%)これからも生徒・学校の助けになるような活動を続けていきたい。

学校
 ●ここでも過去最高の認知度となりました。引き続き地域の方々に応援され、誇りに思っていたいただける学校を目指します。

5. 学校は、子どもが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動することができるような教育を進めている



分析・コメント

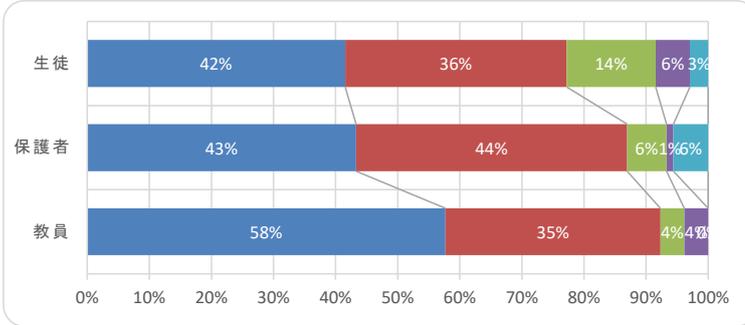
学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

●(生徒93%、保護者81%)自己肯定感が高いことは、非常に重要なことである。良い結果が得られているので、これからも教育をすすめていただきたい。

学校

●今年度、生徒の自己肯定感を高めることを生徒指導や学校経営の重点に置き取り組んできましたが、教職員も含め人権意識を高めて共に学び、人に優しい学校を目指して「自分も相手も大切にできる生徒」の育成に力を入れていきます。

6. 学級は、落ち着いて学習できる雰囲気である



分析・コメント

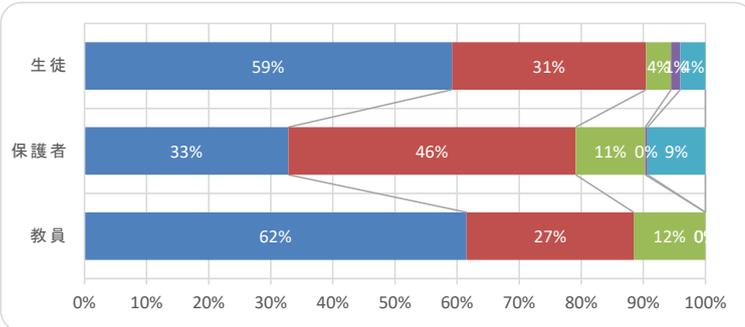
学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

●(生徒80%、保護者85%)保護者、教員に比べ、生徒の肯定的意見がやや低い。生徒学年別では1年生が65%で最も低い。

学校

●落ち着いて学習できると回答した生徒は前回の39%から42%に増加した。逆に保護者45%から43%となりました。学年による差が出ているので発達段階を考慮しながらも、全学年80%以上を目指す具体的な手立てを検討、実行します。

7. 学校は、次のような点で授業の工夫に取り組んでいる(説明、板書、発問、視聴覚機器、ICT機器の活用など)



分析・コメント

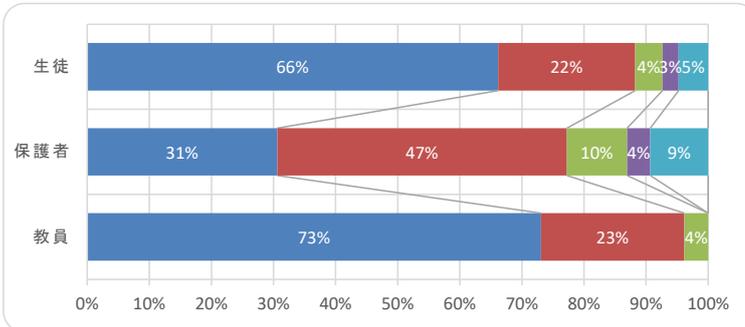
学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

●(生徒88%、保護者79%)前回と同傾向。タブレットを用いた教育がすっかり定着しているとはいえ、より高いレベルが今後も求められると思われる。

学校

●引き続き学び合い、楽しく、分かる授業を行えるように校内での研修や意見交換をプロジェクトチーム(学び合い、GIGA)を中心に行い、授業改善を進めます。

8. 学校は、いじめに適切に対応し、いじめのない学校づくりに取り組んでいる



分析・コメント

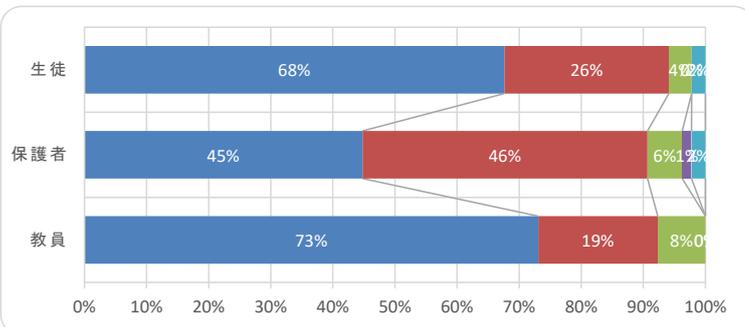
学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

●(生徒93%、保護者77%)生徒の肯定的意見が前回と同じく高いのは、良い傾向である。引き続きいじめのない、また適切な対応ができる学校をめざしていただきたい。

学校

●引き続き、毎月の全校での生活アンケートや生徒理解の時間(毎週水曜5時間目)、木曜日の生活指導部会、金曜日のいじめ対策・特別支援校内委員会などによる早期発見早期対応に努めていきます。

9. 学校は、生活指導に熱心に取り組んでいる



分析・コメント

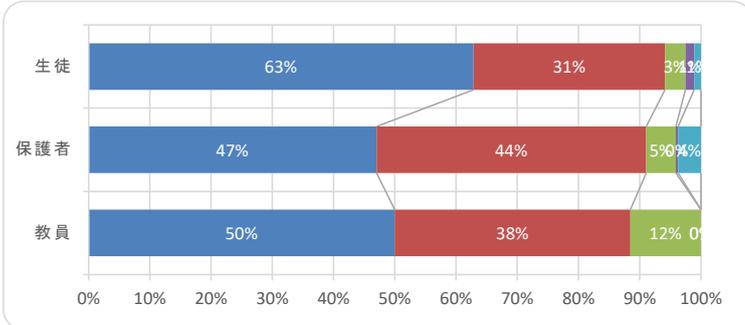
学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

●(生徒94%、保護者88%)全般で肯定的意見が高く、落ち着いた学校生活が保たれていると思われる。

学校

●教職員の努力と保護者や地域の方々のご理解と協力により、高水準を維持できています。自己肯定感を根底に置いた自己指導能力の育成を意識して取り組みます。

10. 学校は、学習環境の整備や清掃活動に取り組んでいる



分析・コメント

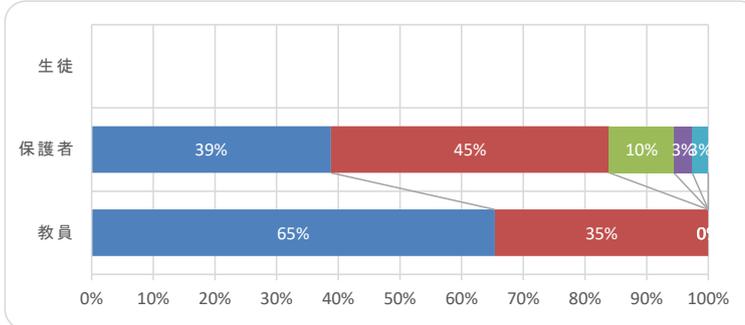
学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

●(生徒93%、保護者89%) 前回同様、肯定的意見が9割。いい傾向である。

学校

●自己指導能力の育成の観点からも「自分たちの学校は自分たちできれいにする」意識を高めていきます。

11. 学校は、保護者に対して適切に情報を提供している



分析・コメント

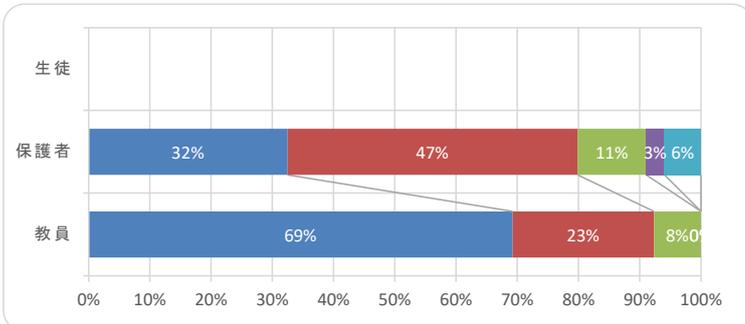
学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

●(保護者85%) 前回同様の結果。学年別にみると、1年生と3年生の肯定的意見の割合が高くなっている。保護者と学校との認識の差がある項目である

学校

●全体への情報提供はHome&Schoolの活用によりスムーズに行えるようになってきました。個々への適切なタイミングでの情報提供に関しては今後もより丁寧に行っていきます。
* 今後、できるだけ紙ベースでの配布からメール(home&school)配信に切り替えてまいります。ご協力をお願いします。

12. 学校の子供の学習に対する評価は、適切・公平である



分析・コメント

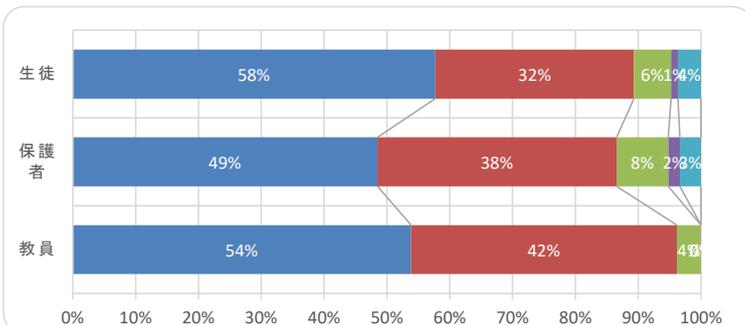
学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

●(保護者73%) この項目も毎回保護者と教員の間認識の差がみられる項目である。。学年別にみると2年生の保護者の肯定的意見が若干低い。

学校

●評価に関しては今後も様々な試行錯誤を行っていきます。現時点での評価については公平性と透明性を担保して行っていますが、評価にについてや学習についての質問はいつでもお聞きください。

13. 先生は、生徒とよく話をしている



分析・コメント

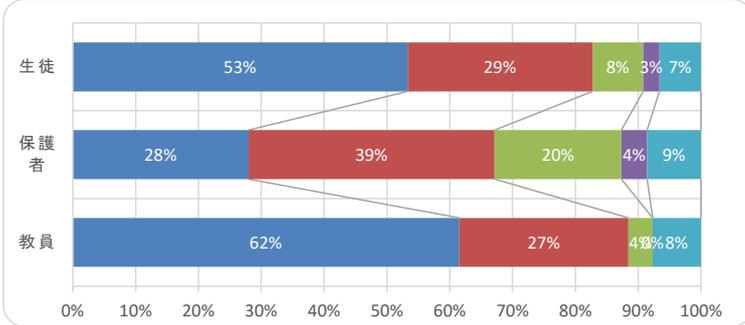
学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

●(生徒88%、保護者80%) 生徒の肯定的意見の割合が前回よりアップしており、学年別にみても同等の結果である。いい傾向といえる。

学校

●90%の生徒が教員との関係性を良好であると感じています。本校の誇れることの一つに挙げたいほどです。しかし、一部生徒の中にはコミュニケーションが上手くいかずにストレスを感じる場面もあるようです。より良い関係構築に努めます。

14. 職業調べ、職場体験、高校説明会などの進路学習を通して、自分の将来や生き方を考えるようになった



分析・コメント

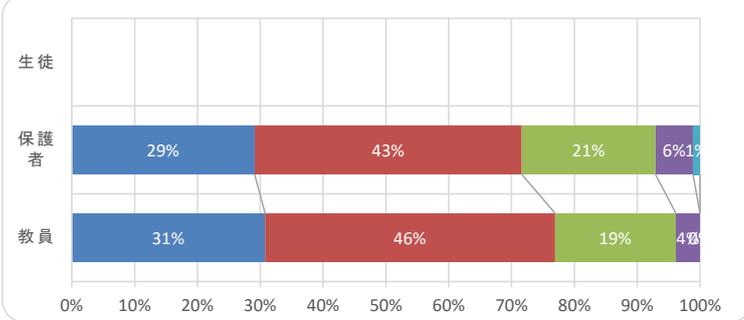
学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

●(生徒77%、保護者49%) 前回と比較して生徒の肯定的割合がアップしている。学年別にみると学年が上がるにつれ、肯定的割合が徐々に増えている。

学校

●職場体験や進路説明会などを経験した二学期に大きく意識が高まりました。これからも「自分の進路を自分で考えて決める力」をキャリア教育の中心に置くことを常に意識して指導していきます。

15. 生徒は、学習にしっかり取り組んでいる(家庭学習も)



分析・コメント

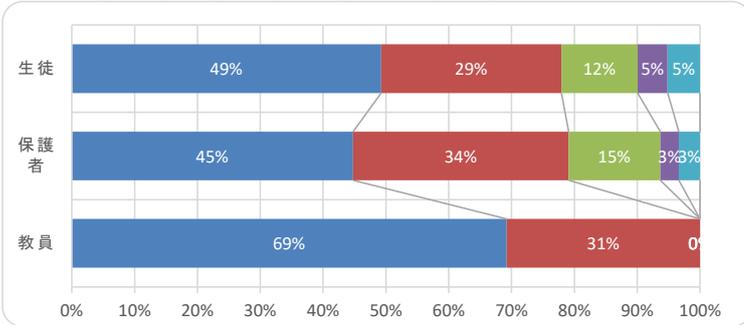
学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

●(保護者75%) 前回同様の結果である。こちらも学年が上がるにつれ肯定的割合が増えている。

学校

●特に家庭学習の習慣は学力向上はもとより、基本的な生活習慣の確立や自律の力や忍耐力など生きる力の獲得にもつながります。学校と家庭が連携しながら習慣化していきましょう。

16. 生徒は、学級活動・生徒会活動に積極的に取り組んでいる



分析・コメント

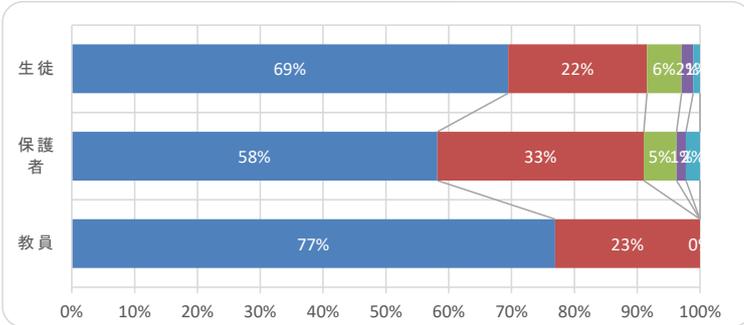
学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

●(生徒77%、保護者80%) 生徒、保護者とも同等の認識である。こちらも学年が上がるにつれ肯定的割合が増えている。

学校

●生徒会活動が2年生中心の運営となり、その意識の高まりを感じています。今後ますます、生徒の自治活動への意識や協働意識が高くなることを期待しています。

17. 生徒は、学校や学年の行事に積極的に取り組んでいる



分析・コメント

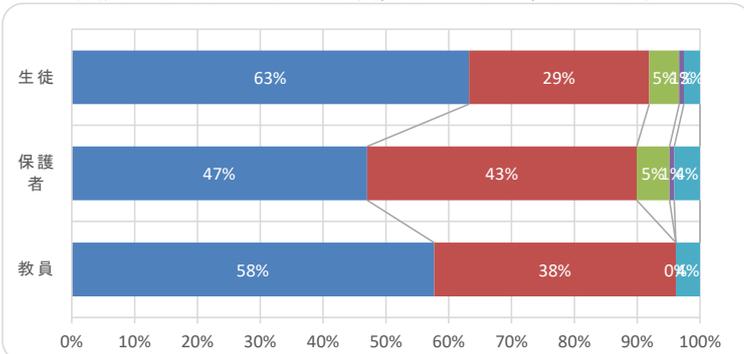
学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

●(生徒92%、保護者91%) 毎回肯定的意見が高い項目であり、保護者の肯定的割合も高く良い結果といえる。行事に主体的に取り組む姿勢をぜひ継続して頂きたい。

学校

●多くの学校行事が行われた二学期でした。生徒たちの取り組み姿勢は学年が上がるにつれて良いものになってきました。今後も魅力ある行事を計画し、生徒たちに達成感を味わわせる指導を行います。同時に、リーダーの育成に力を入れていきます。

18. 本校が取り組む学び合う授業づくりは良いと思う



分析・コメント

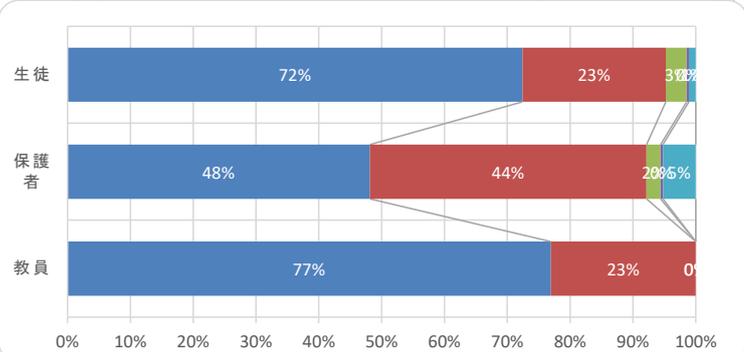
学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

●(生徒91%、保護者83%) 前回同様9割が肯定的意見。授業は先生と生徒で作り上げるもの。ぜひ双方が納得できる授業を継続して頂きたい。

学校

●学力向上はもとより、誠実、自律、調和の精神を育むための学び合う授業づくりです。一人一人の生徒が安心して生活できる「優しい学級・学校」であるために今後も工夫改善をしながら取り組んでいきます。

19. 学校は、子どもたちが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる



分析・コメント

学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

●(生徒94%、保護者90%) 生徒、保護者、学校共に肯定的意見が高い。学校が生徒の安全に留意し、生徒が真剣に避難訓練に参加していることの証。今後も継続して頂きたい。

学校

●訓練に臨む生徒たちの行動は大変に良い状態です。全校生徒が防災頭巾を着用し無言で非難する姿に、防災や集団での行動への意識の高さを感じています。

20. 学校は、特別支援教育(特別な支援を必要とする子どもに対しての教育)に取り組んでいる。

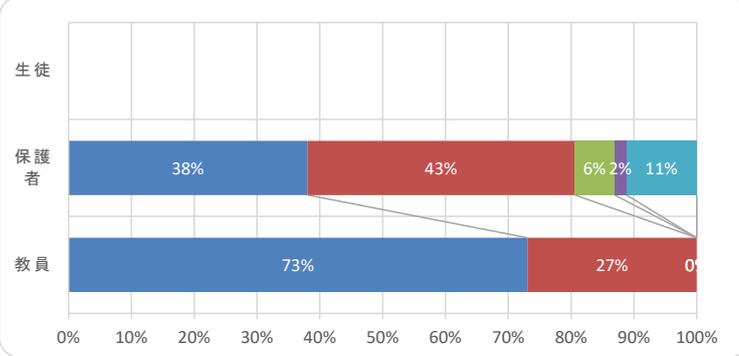
分析・コメント

学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

●(保護者79%)前回同様、約8割の肯定的意見。「分からない」という保護者が1割。情報発信も必要か？

学校

●特別支援学級巡回教員による通常学級での講話や授業研究と日ごろからの連携や事例検討会等が本校の特別支援教育の特色になってきています。今後もその取り組みを継続して生徒の意識も高めていきます。



21. 子どもたちはよく挨拶をしている。

分析・コメント

学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

●(生徒95%、保護者86%)生徒、先生の肯定的割合が高い。素晴らしい結果といえる。私たち大人も「心を込めて自分から挨拶」を心掛けたい。

学校

●一年生のあいさつがよくなり、浅川中の良い伝統が引き継がれています。学校外でのあいさつもよくなっていると感じます。「あいさつで自分を磨く」、人としての成長を期待したと思っています。

